

祐善寺だより

第52号

発行日

2024年7月4日

真宗大谷派 祐善寺 住職/岡崎 賢 福井県丹生郡越前町上糸生20-2 TEL 0778-34-5170 FAX 0778-34-5170

祐善寺納涼祭&子ども報恩講を 5年ぶりに再開します!!

8月11日(日)午前5時に実施

当寺の夏の恒例行事ともなっていた「納涼祭&子ども報恩講」は、2020年1月頃から世界中を震撼させた新型コロナウイルスの感染拡大により、4年間、中断せざるを得ませんでした。その間、社会生活上の様々な制約が課せられ不自由な生活を余儀なくされましたが、昨年5月8日から、新型コロナウイルスの感染法上の分類を季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げられたことに伴い、社会生活等もコロナ以前に戻ってきたことから、今年より「納涼祭&子ども報恩講」も再開することになりました。

「納涼祭」は、当時の役員さんからの発案で、お寺で子どもたちに楽しい思い出を経験すると、大人になってからもお寺に足が向く、から何か楽しいことを始めよう、と2010年に始まったことです。今や、この取り組みは、他からも評価されるように育ってきたことは、支えて頂いた役員さん、実行委員のご協力頂いたご門徒さん、そして、何よりこの「納涼祭&子ども報恩講」を楽しみにしてご参加、ご協力頂いた大勢の子どもさんたち、お父さん、お母さんたちの篤い

願いが結実していることの証でもあるのでしよう。

皆さん、どうか、コロナ禍を乗り越えて再開する「祐善寺納涼祭&子ども報恩講」にご参加下さいますよう、お願いいたします。コロナ感染症、熱中症にも十分配慮して実施します。また、当日の運営を手伝って頂く実行委員さんも募集しております。どうかよろしくお願いたします。



前回の納涼祭のコマ！
大変、盛り上がりました！



能登半島大地震被災者の方々に

本年1月1日午後4時10分、能登地方を震源とするマグニチュード7.6、最大震度7の大地震が発災し、能登半島を中心に甚大な被害を被りました。大地震によって、280名(6/16現在・災害

関連死を含む)を越える方々の尊い命が奪われ、約3万戸の建物が全半壊、発災以来半年を過ぎてはなお、多数の人たちが避難所暮らしを続けておられる、という未曾有の災害が能登半島全域に及びました。

水・電気・ガス等のライフラインは寸断され、長期間、水も電気もない不自由な避難所暮らしを余儀なくされ、約2ヶ月ぶりに水道が開通し、蛇口をひねって水が出たのを確認した老婦人が、泣きじゃくって水道の開通に感謝していた映像がテレビで流れていたのを観たときには、私も涙が出たのを覚えています。

能登半島にはまた、当寺と同じ真宗大谷派の寺院も多く建立されており、その大半の寺院、ご門徒も大変な被害を受けております。能登教区内の寺院数・353カ寺中、310カ寺から被害の報告があり、半数以上が本堂・庫裡の大規模被害に遭っています。勿論、寺族・ご門徒の方々も多数、犠牲となりました。

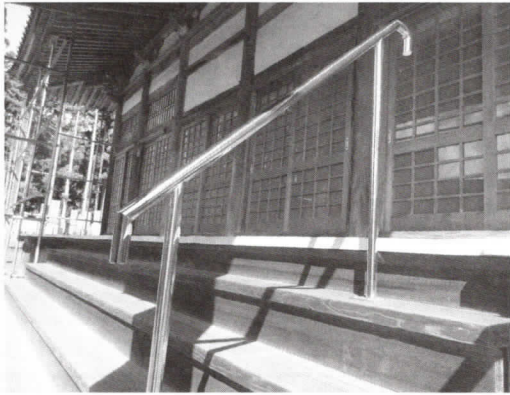
テレビや新聞等で、大地震の惨状を伝える報道に接するたびに、何の力にもない自分申し訳なく思っばかりです。地震列島に住む我々は、明日は我が身との覚悟を持ちながらも、犠牲となられた人たち、大規模災害で再建のメドも立たず途方に暮れておられる被災者の皆様に心からのお見舞いを申し上げます。皆様、被災した地域の一日も早い復興復旧を願っばかりでございます。 合掌

本堂階段に手すりが設置されました!

総代 上野 三千男

このたび、本堂階段に手すりを設置いたしました。これで、足腰の悪い方、高齢者の方々に配慮した祐善寺になりました。ご門徒の皆様、祐善寺にお参りに来られた際には、ご利用ください。

合掌



▲手すりは、本堂に向かって右側に設置されています



福井教区第4組 第27回 同朋大会 当寺で開催される

渡邊 千代一

去る6月8日に福井教区第4組同朋大会が、各寺住職、各寺門徒会員、同朋会推進員に当寺門徒等約50名以上の参加を得て、祐善寺で開催されました。私は、挨拶し議事に入り、令和5年の事業報告と会計報告、そして、令和6年の事業計画、予算案等を審議頂き可決され、無事終了しました。前日から寝られず、ノミの心臓をパクパクさせながら議事を進め、何事もなく総会が終了し安堵しました。

総会后、本山の寺院活性化支援室の小谷氏による「寺院・門徒の今後の歩みを探る」との講演がありました。寺に寄り添う現在と未来を考える等、スライドで説明されて、今後の寺院・門徒の有り方、進め方を考え、少しでも寺離れを少なくし、お寺に気軽に参加出来るようにするには?とのテーマで参加者が活発に意見を出し合い、楽しいうちに終了しました。本当に有り難うございました。

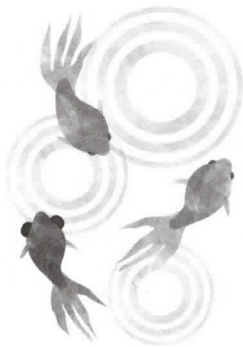
私も10年以上前に、同朋会推進員養成講座に参加して5回程、東別院



▲講師の小谷氏は、寺の過去・現在・未来について分析し、問題提起されました。

で講義を受け本山での2泊3日の講習を受けて推進員になりました。その時に学び、思ったことがお寺の行事に参加(子や孫に参加を呼びかけ)し、門徒さんにも声掛けて一人でも多く関心を持ってもらうことが推進員の役目だと思いやって来たつもりです。これからもそう願いながら頑張っていくと思います。

(第4組同朋の会・推進協議会 会長)



令和6年度護持費の志納よろしくお願ひします

祐善寺を永代に亙って護持していただくために、護持費をお願いしておりますが、今年も次のおとりご志納下さいますようお願い申し上げます。

◇護持費の使途

- ・ 報恩講の厳修費や教化事業の実施
- ・ 本堂を守る火災保険や環境維持費用
- ・ 本山相続講、福井教区賦課金等
- ・ その他

◇年額

一戸 一〇,〇〇〇円(以上)

◇志納方法

- ・ 寺へ直接志納する
- ・ 秋まわりや法事で住職が貴家を訪問の際に志納する
- ・ 地区の役員さんに志納する
- ・ 郵便振替口座 (〇〇七七〇一九一三〇七二二)
- ・ 加入者(祐善寺)

◇志納期限

毎年十一月末日

へ振り込む

投稿ページ

◆不安川柳

小倉 野村 明良

あちこちで 日照 水害 先不安

(地球温暖化の災害 心配です)

せんそうで 苦しむ人の 先不安

(いつになったら戦争が止むのか)

かわいそつで……)

わが国の 頭うろろう 先不安

(日本はどこまで惨めになるのやら)

そのとおり

桑原文子

今日から6月。朝5月のカレンダーをピリピリとはがした。カレンダーの標語が目飛び込んできた。『いい人いい雨いい天気みんな私中心』。本当にそのとおりだなあーと思つて苦笑した。この標語入りのカレンダーは、祐善寺さんから毎年いただいているものだから。

いくつかのグループの一員として楽しんでる。気の合う者同士の集まりである。性格はそれぞれが違い正反対の人もいるが、根本的にはどこかで思いが繋がっているのだらう。

う。何時間も共に過ごしても疲れないうし楽しい。私は聞くほうが多い。話す人、聞く人の役目が自然とできているのかも。いい人だと思つているのは、これも私中心なのかも。「あの人変なこと言うね。変わった行動するね」と思つのも、これも私中心なのかもしれない。

6月2日は立待地区の体育祭だった。計画、準備と力を注がれてきた役員の方々、体育系の選手の人たちはいい天気を期待されていたことだろう。シブシブ選手を引き受けた人は雨の予報を期待していたかも。わたしは観客のみなので中止、実施どころかハッキリとした天気を期待していた。お天気は自然にまかせられない。開会式途中で大雨となり一時中断したが、青空も出て再開できた。参加したほとんどの人は体育祭ができて良かったと思われたことだろう。一時大降りした雨は夏野菜には恵みの雨だったのかも。毎日6月のいいカレンダーの標語を目にして、本当にそのとおり、そのとおりとつなずいてるわたし。

能登地震を機に思うこと

上野 養治

令和6年1月1日午後4時10分能登半島震源の地震が発生しました。

私の家でも家族が集まり食事をしていた時でした。皆、外へ出て「震度3か？4か？」などと言つて、私達には被害が無い事に安心したものです。1月1日は、なぜこの日に！と思つてしまうような日ですが、地球には全く関係ありません。人が勝手に特別な日としているだけです。

災害や事故は突然襲ってきます。予測できる事故はインソリッヒの法則で、確率で表わされるものもありますが、それも何時起こるかは分からなく、やはり突然起きます。動画サイトの危機一髪の映像で、一瞬の違いで巻き込まれず安堵している人と同じように、平然と過ごしているのが私です。

能登地震を体感しても、すぐに自分の所に地震が起こるから何とかしなければ…とは全く思っていないのです。福井地震（昭和23年6月）から76年、いつ発生するかどうかが。今かも知れないのに「今は無い 明日も無い」と思つて生活しています。

ふと思ひ出したのは、御文の第五帖十六通にある「我やさき人やさき今日ともしらさずあすともしらす」の一文。いつ命が終わるか分からないと教えているのに。ただ読んでいるだけで、「明日がある」と思っています。毎日が平穏で健やかに暮らせると、今も自覚できません。

そして、誰もいなくなつた

松島 守

定職を退き二年がたとうとしてい。特別な趣味も無いので、取り敢えず自分の土地（畑・田んぼ。山林等）に時間の許すかぎり好き嫌いにかかわらず携わつてい。まさに晴耕雨読の気楽な毎日だ。今まで日中は、自宅にいる事が少なかったのに判らなかつたが、毎日いると感じます。外に人がいない。町内も他の集落にいつても人がいない。草刈り機、チェンソーの音も頓としない。昔の頃は、朝から晩まで皆で田んぼの指苗に明け暮れていたように記憶しています。でも、最近増えたのは、熊等けもの目撃情報ばかり。

少子高齢化と言われて久しく、また認知症の拡大も加わり状況は悪化するばかり、日本全国どこの地域でも垣間見る事ができる日常的風景だと思ひます。だからと言つて、私に何か特別な事が出来る筈もなし。今、出来ている事を、一日でも長く継続していく事が自分の最大の目標です。先人方が行つてきた事を思い出しながら、一日一日の糧にしていきたい。そうする事が、わがふる里への僅かばかりの恩返しになるのかな？ そんな風に考えるようになったのも、年令を重ねたお蔭様です。

「祐善寺納涼祭&子ども報恩講」にご参加下さい!!

コロナ禍で中断していた「納涼祭&子ども報恩講」を5年ぶりに再開します！暑い夏の日のひとつ、ご先祖様の前で「納涼祭&子ども報恩講」の楽しい思い出を残しましょう！

と き 8月11日(日) 午前11時OPEN

と ころ 祐善寺本堂&境内

めにゆ

- 11:00 **オープニング〈子ども報恩講〉**
 - 正信偈おつとめ ● 紙芝居
 - ゲーム ほか
- 12:00 **グルメ・ドリンクコーナー開店**
 - 流しそうめん ● 焼きそば
 - やきとり ● かき氷 ほか
- 13:00 **ゲームコーナー開店**
 - カラオケ&輪投げ&ビンゴ大会

かいひ 1人 500円
(ただし、中学生以下=無料)

ご家族、ご親族の皆様、お孫さん、甥っ子さん、姪っ子さん、お祖父さん、お祖母さん、みんなお誘いあわせて、是非、ご参加下さい！

お待ちしております！



ご参加くださる方は、お手数ですが、人数を祐善寺へお電話下さい。

(当日の飛び入り参加も歓迎です！)



皆様より「祐善寺だより」第53号への原稿を募集いたします。日頃お考えになっっていること、どのようなことでも構いません。原稿締切は、8月31日です。よろしくお願ひします。ふるっご投稿を、お願ひします。

投稿・お便り募集

おくやみ

野村武次様(越前町小倉)には、令和五年十月五日、行年八十四歳にて往生の素懐を遂げられました。ご生前中のご功勞に、心より深謝申し上げます。

橋谷彌須雄様(越前町東内郡)には、令和六年二月二十七日、行年七十八歳にて往生の素懐を遂げられました。ご生前中のご功勞に、心より深謝申し上げます。

ホームページをご覧下さい



QRコードを読み取るか、検索窓に下図の検索ワードを入れて入室してください。

祐善寺 孤独死ゼロ

検索

ホームページへのご意見、ご感想等をお寄せ頂けますと嬉しいです！よろしくお願ひいたします！

年忌法要を
お勤め下さい

あなたのいのちは、あなただけのものではない。ご先祖様代々からの贈り物！あなたがいのちを頂いたご先祖様の年忌法要を是非、お勤めしてください！それは、人としての努めです。

記

一	三	七	十三	十七	二十五	三十三	五十
周	回	回	回	回	回	回	回
忌	忌	忌	忌	忌	忌	忌	忌
令	令	平	平	平	平	平	昭
和	和	成	成	成	成	成	和
五	四	三	二	二	二	四	五
年	年	十	十	十	十	年	十
没	没	年	年	年	年	没	年
		没	没	没	没		没

わかりやすい終活

第1回 遺言①

近年、とみに「終活」という寂しい言葉がきかれるようになりまし
た。テレビのワイドショー等でも、「終活」を集めることが目立ってき
ました。わが国の少子高齢化、核家
族化等と相まって、「終活」という
キーワードが、当たり前のよう論
じられています。

私は、「終活」とやらは、ナンセン
スだと思っています。家族が、或い
は親族が互いに意思を確認し合い、
一日一日を大事に暮らしていつてい
れば、取り立てて「終活」と騒がな
くていいと思うので「終活」には否
定的な立場です。

ただ、それでも終活が一大関心事
と行き着く先に不安を感じている人
たちのために、「転ばぬ先の杖」とい
う観点から本誌で《終活》を連載し
ていきたいと思えます。

第一回は、〈遺言〉です。遺言は、「
ゆいごん」とも「いごん」とも呼ば
れています。乱暴な分け方をするな
らば、一般的には「ゆいごん」、法律
用語的には「いごん」と呼ばれると
いえます。『広辞苑』で調べてみる
と、「遺言」は、「死後のために物事
を言い遺すこと。また、その言葉。
法律用語では、『いごん』と言う」と
訳されています。

「ゆいごん」は、生前に自らの死後
について言い残すこと。それは、口
頭であっても、書面であっても、録

音テープ等であっても、「ゆいごん」
と総称されます。ただし、法的効力
は原則的ではありません。残れる家族
親族等に対して、これまでの感謝の
気持ちと、人生で大切にしたいこと
を伝えてから死を迎えたい。「ゆ
いごん」には、そのような気持ちが
満ちているものです。

それに対して、「いごん」は、「自
分の死後に法律上の効力を発生させ
る目的で遺贈・相続分の指定・認知
等につき、一定の方式に従っておこ
なう単独の意思表示」と説明できま
す。つまり、自らの死後、相続人等
の間で「争続」が起こらないよう、
自分の遺した財産の具体的な分け方
を生前に決めておく、というのが一
つの大きな目的とも言えるでしょう。

「いごん」の内容は、「いごんしよ」
にまとめられますが、作成時の留意
点としては、
①作成時に、意思判断能力があること。
②遺留分に気を付けて財産を処分す
るよう気を付ける。

③いつで自由に書き替え、取り消し
できること。
等を挙げることができます。
遺言書には、自筆証書遺言、公正
証書遺言、秘密証書遺言の三種類が
ありますが、これらについては、次
号で詳しく説明しましょう。

ともあれ、「遺言」とは、「自分が
生涯をかけて築き、かつ、守つてき
た大切な財産を、最も有効・有意義
に活用してもらうために行う遺言者
の意思表示」（日本公証人連合会）
であり、「終活」では、真つ先に検討
すべき事柄である、と言えるのでは
ないでしょうか！

其の48

仏事 一口メモ

ねんきほうよう 年忌法要

葬儀後、七七忌（四十九日）法
要も終わりますと、とりあえずは一
段落というところですが。しかし、人
の出入りが少なくなる反面、頼りの
人が亡くなった空しさ・悲しみがい
よいよ深くなることでしょう。

そのときこそ、わが身を振り返り、
生きる意味をたずねていただきたい
と思います。お内仏のお給仕やおつ
とめはもちろん、寺の諸行事（聞法
会）への参加もお勧めします。日ご
ろの仏法聴聞の生活が、「生きる意
味」を見いだしてくれるからです。

さて、平日のお参りとは別に年忌
法要（法事）があることを覚えてお
きたいものです。真宗大谷派の年
忌法要は、百カ日、一周忌、三回
忌、七回忌、十三回忌、十七回忌、
二十五回忌、三十三回忌、五十回忌
となります。五十回忌以降は五十年
毎につとめます。

ただし、地域によっては二十年以
後、二十三回忌、二十七回忌、三十
三回忌、三十七回忌というようにおつ
とめするところもあるようです。
年忌法要の数え方は、亡くなられ

た日をいれて百日目か百カ日、一周
忌は亡くなられて一年目の祥月命日、
三回忌以後は亡くなられた年を二に
数えて「数え」で計算します。つま
り、丸二年が三回忌、丸六年が七回
忌、丸十二年が十三回忌、丸十六年
が十七回忌、丸二十四年が二十五回
忌、丸三十二年が三十三回忌、丸
四十九年が五十回忌となります。

数え方の由来には諸説あり、明確
にはわかりません。仏教にそつた説
というよりも、中国の暦や儀礼から
きているようです。大切なことは年
忌という一つの節目をとおして、そ
の場を仏縁としていただけるかど
うかでしょう。

七七忌（四十九日）法要の次は
百カ日法要です。百日という一つの
期間を経て、亡くなっていかれた方
からいつたい何を学んだのか。わが
身を振り返る日していただきたいと
思います。

真宗大谷派・年忌法要の数え方

百カ日	亡くなられた日をいれて百日目
一周忌	亡くなられて1年目
三回忌	亡くなられて2年目
七回忌	亡くなられて6年目
十三回忌	亡くなられて12年目
十七回忌	亡くなられて16年目
二十五回忌	亡くなられて24年目
三十三回忌	亡くなられて32年目
五十回忌	亡くなられて49年目

※五十回忌以降は、50年毎につとめる。

『仏事ひとくちメモ』（東本願寺真宗公会館）所収

お知らせ

永代経会

八月七日(水)

十一時半

御齋

一時半

永代経会法要

二時

法話 看景寺任職

(越前町小樟)

朝倉尊寿師

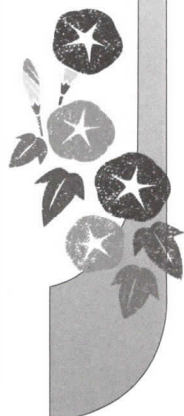
三時

物故者総墓収骨

永代経会とは、亡き人からいのちを頂き、この世を生かさせてい
ただいている私たちが、亡き人を
偲び、亡き人に感謝申し上げる
法会であります。

このかけがえのない法会に、ご
家族、ご親族、ご法友お誘いあわ
せの上、何卒ご参詣下さいますよ
う、ご案内申し上げます。

当日は、クールビズ(軽装)で
午前中よりお寺でゆつくりとお
過ごし下さいますよう、重ねてお
願い申し上げます。
合掌



永代経会・お盆を前に

寺周辺の草刈り。 環境整備作業に 協力下さい!!

日 時 七月十五日(海の日)
七時三十分集合

持 物 草刈機もしくは鎌、
軍手、スコップ 等

傷害保険 加入します。

小 雨 決行します。

炎天下で恐縮ですが、ご協力
頂ける方は、傷害保険に加入し
ますので七月十一日(休)までに地
区役員、もしくは祐善寺へお電
話下さい。

草刈り作業のみならず、草む
しり、環境整備等の作業もあり
ますので、どなたでもご協力い
ただけます。

皆様、ご協力

下さいますよ
う、どうかよ
ろしくお願
い致します。



実行委員募集!!

子ども報恩講& 納涼祭

コロナ禍で中断していた「子
ども報恩講&納涼祭」を五年ぶ
りに再開します!

つきましては、「納涼祭」の運
営に協力して頂ける実行委員を
左記の通り募集しております!
皆様、ご協力下さいますよう
お願いいたします!

〔日 時〕八月十一日(日) AM

〔内 容〕

- ① 流しそうめん・焼きそば・焼
きとり・かき氷等会場準備、
食材の調理・運営等
 - ② ビング大会会場準備、景品の
準備・運営等
 - ③ 納涼祭会場準備、受付、食器
等の準備、記録等
- 〔持 物〕軍手、女性IIエプロン等
〔申込み〕お手数ですが、七月
十二日までに祐善寺へ
ご連絡下さいませ
ように!



編集後記

★五月の連休も過去のこと。さすがし
い日々が続く今日この頃です。福井に
北陸新幹線が延伸して早、三か月。皆
さん、乗りましたか?今回は、JR西
日本のICイコカカードについてお話
します。

よく旅行に行かれる方はお持ちだと思
いますが、例えば、奈良駅より鯖江駅
までイコカで乗ってみましょう。JR
西日本敦賀駅でハピラインに乗り継ぎ
鯖江駅へ。しかし、最終的には残高不
足が発生。鯖江駅で精算をするにしま
も無人駅(駅員はいる)不足分をお願
いすると、武生駅で後日精算ください
とのこと。乗客は怒り心頭。精算には
行かないと。結果はどうか。一か月後
に、また旅行。イコカカード利用で出
発しました。すると改札口が開かず、
ICカード利用できず。駅員に確認す
ると、不足分の精算が終わっていないく、
カードの利用が停止されていた。早速、
過去の料金を精算し、旅行を継続した
とのこと。

JRがハピラインになり、鯖江駅を利
用する私たちは、大変不便になりました。
また最近の新聞でも、当駅利用者
数が激減とのこと。知事さん、何とか
してください。(総代・上野三千男)

★久しぶりに「納涼祭&子ども報恩講」
を実施します。運営へのご協力、ご参
加をよろしくお願いたします。
また、ご先祖様への感謝を込めて永代
経会へのご参詣も願います。
さらに、もう一つお願。7月海の日
の草刈り作業奉仕、猛暑のなかですが、
よろしくお願いたします。(任職)